

中川 勲 議員（代表質問）

1 新年度予算について

- (1) 3月補正予算と一体的に編成されたが、特に国の交付金事業として、地方創生先行型・生活支援型等を活用した事業が多く組まれているが、地方創生（滑川市）に対する決意と、どのような効果を求め予算化されたのか。また、新年度予算で一番力を入れたい事業は何か。
- (2) プレミアム付き商品券を発行するとのことだが、いつ頃どのような内容なのか。
- (3) 図書館のリニューアルが予算化されている。
 - ア 構想はできているか。
 - イ 議員の提案を聞くことができるのか。
 - ウ 図書館と市内小中学校との連携を強化されているのか。
 - エ 駐車場が狭いのではないか。
- (4) 安田工業団地第4期造成事業が行われるが、具体的にどのように進んでいるのか。また、企業誘致を進めているのか。
- (5) 滑川運動公園が11年ぶりに事業が再開され、3年間で（仮称）堀江自然ふれあい広場として整備されるが、地元地域の方の意見は十分に組み込まれているのか。また、未買収地についても交渉を続け一体整備はできないのか。

2 観光について

- (1) 北陸新幹線開業に向け、滑川市として観光客誘致にどのように取り組まれたのか。また、今後どのように活動を展開されるのか。
- (2) 滑川駅に臨時観光案内所を開設するとあるが、具体的には。
- (3) 観光を積極的にPRするとのことだが、何を、どこまでか。
- (4) 今後は、外国人が多く訪れると想定されるが、対策は。
- (5) JR新駅問題は怎么样了のか。

3 教育について

- (1) 市内小中学校で不登校・いじめの実態はあるのか。また、対策はされているのか。
- (2) 土曜授業を来年度も継続されるとのことだが、これまでの反省と評価はされての継続だと思うが。
- (3) 土曜授業は、教師の負担が多いと聞くが、アシスタントを付け月2回の土曜授業を順調に行っている自治体があると聞くが。
- (4) 教育行政が大きく変わるが、どのようになるのか。
- (5) 道徳が2018年度から教科外活動から正式な教科になるようだが、教育委員長の思いを伺う。

4 安全安心について

- (1) 富山県総合防災訓練が行われるとのことだが、いつごろ、場所はどこで、また市民参加は。
- (2) 今年度、津波対策班が設置されたが、対策は進められたか。
- (3) 養鶏場建設問題についての現状は、どうなっているのか。
- (4) 東日本大震災から4年になるが、市民の安全安心の防災について決意を。

5 児童福祉について

- (1) 子ども子育て支援事業計画が策定されるが、どのように変わるのか。
- (2) 放課後児童対策事業が拡充されるが、対応はできているのか。

浦田 竹昭 議員（代表質問）

1 入札公告の前倒しについて

- (1) 児童館建設に伴う入札について、予算議決前に入札公告前倒しの理由について
- (2) 議会での予算の議決と予算執行、及び入札作業制度の予算議決と公告から開札までプロセスの見解について
- (3) 今後の対応について

2 滑川運動公園整備について

- (1) 滑川運動公園でのパークゴルフ練習場の検討経緯、及び今後パークゴルフ場への移行について
- (2) 東福寺野自然公園パークゴルフ場の利用者、及び東福寺野自然公園の利用者の動向と対応の見解について

3 有害鳥獣被害防止対策について

- (1) サル、クマ、イノシシの被害状況、捕獲状況の考察について、及び今後の対応について
- (2) 行政、捕獲隊と地域住民との連携、協力体制の整備、及び組織結成の推進・促進と補助制度について

4 博物館の利活用策について

- (1) 高速道路、新幹線の車窓から滑川をPRする手段として、博物館外構に「LEDによる光の表示板」の設置、また、その電源に、博物館屋上に太陽光発電システムの設置について
- (2) 博物館屋上を一般開放と双眼鏡の設置について

- (3) 博物館屋上に、NHKや民間放送の定点カメラの設置の推奨について
- (4) 「まち・ひと・しごと創生」の地方版総合戦略の一つとして、中山間地域の活性化への観点からの見解について

5 子どもたちの健全育成について

- (1) 小・中学校におけるいじめや不登校の実態と、その対応の現状について
- (2) 子どもたちへの命の大切さの学び、保護者への親学の学びの機会の拡充について
- (3) 子どもたちの心の声を聴いて相談できる環境づくりと、直接対応できる、カウンセラーの配置について

古沢 利之 議員（代表質問）

1 国民健康保険について（市民の健康を守るために）

- (1) 国保会計の現状の認識について
市長は様々なところで国保会計が黒字になったと報告しているが、要因をどう見ているか。
- (2) 都道府県単位化による問題点は何か。
 - ア 実務が県にできるか。
 - イ 保険料（税）はどのように決まるとみているか。
 - ウ 保健事業はどうなるか。
- (3) 4月から「保険財政共同安定化事業」の対象が「1円以上」になるが、その意味するところは何か。
- (4) 国は新年度、国保財政への繰り入れを増やすと伝えられているが、どう反映されるか。
- (5) 国保以外の市民の健診の受診状況について情報はあるか。
 - ・ 「協会けんぽ」など被用者保険との連携はどうか。

2 TPP交渉について

- (1) 市長の基本的な立場（反対）は変わらないか。
- (2) 情報は断片的にしか伝わらないが、国会決議に反すると考えないか。

青山 幸生 議員（一般質問）

1 空き家対策について

- (1) 滑川市の空き家件数、管理不良な家の件数、倒壊の危険がある建物件数の推移はどうか。
- (2) まもなく空き家対策推進特別措置法が施行されるが、滑川市の条例はいつからになるか。
- (3) (1)で質問した倒壊の危険がある建築物は、法第二条の特定空き家等と認識しているか。
- (4) 特定空き家の所有者に対し助言または指導しても改善しない場合は、固定資産税の優遇措置対象からの除外は条例に入るか。
- (5) 特定空き家の所有者に対し、助言・意見の聴取等の必要な手続きを経た場合の行政代執行は条例に入るか。
- (6) 倒壊の危険が予想される前に所有者から名乗りでて、昭和56年以前の建物を転売する場合に解体補助をできないか。
- (7) 危険老朽空き家対策事業の中で、更地になった後の有効利用はどうか。

2 滑川市の魅力アップについて

- (1) 滑川市立図書館リニューアル工事のコンセプトはあるか。
- (2) 滑川市立図書館の現在の来館者数とリニューアル後の目標来館者数はどうか。
- (3) 喫茶コーナーの運営はどんな内容になるか。
- (4) 市のイメージアップキャラクターキラリンの絵本についてどのような形で制作していくのか。
- (5) どんどん焼きのまちをどのように発展させていくのか。

(6) どんどん焼きの新メニューを考えてはどうか。

中島 勲 議員（一般質問）

1 社会環境の整備について

- ・ 高齢化時代への対応について
 - ア 後期総合計画へどのように取り入れるのか。
 - イ 総合戦略へどのように取り入れるのか。
 - ウ 都市計画マスタープランへどのように取り入れるのか。
 - エ 空き家等対策の推進に関する特別措置法について、どのように考えているのか。
 - オ 住宅密集地での防火対策をどのように考えているのか。
 - カ 移動手段、交通安全対策の面からも、公共交通機関との連携を図る考えはないか。

2 予算編成について

- ・ 臨時財政対策債について
 - ア 地方債発行高見込みが50%を超すが、このことについてどのような考えを持っているのか。
 - イ 地方債を一般財源化しているとすれば、財政上問題を感じないか。
 - ウ 仮に財務指数に反映するとすれば、将来負担、実質公債費比率等の数値はどの程度となるのか。

3 教育の向上について

- ・ 児童の小諸市との交流事業について、詳細な内容は決定したか。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 「道の駅ウェーブパークなめりかわ」の活性化について

- (1) 「道の駅ウェーブパークなめりかわ」を地域の賑わい創出の拠点として位置づけ、地域資源を活かした地場産野菜や魚の直売所等の設置を検討すればどうか。
- (2) 「道の駅ウェーブパークなめりかわ」の施設として、はまなす公園も位置づけられている。この公園の整備計画及び今後の整備方針はどうか。
- (3) 「パノラマレストラン光彩」は、富山湾岸サイクリングコース沿線に位置する休憩所「サイクル・カフェ」としても位置づけられていると聞いている。この整備計画及び今後の整備方針はどうか。
- (4) 道の駅の施設を充実・活性化させる意味において、直売所等の物販施設は必要不可欠である。そのゾーンを確保するためにも、建物及び機械設備が老朽化してきているタラソピアについて、今後、施設の廃止も含めて検討してはどうか。

2 中滑川駅周辺地域の今後の計画について

- (1) 中滑川駅周辺の土地に関して滑川市で取得する旨、平成26年6月議会で私の質問に対して市長の答弁があったところである。現在、土地の取得に関しての進捗状況はどうか。
- (2) この3月末で近隣の歯科医院が廃業すると聞いている。この土地の利活用も視野に入れ、用途地域（商業地域）に見合った計画を早急に策定すべきではないか。現在の進捗状況も含めて市の見解はどうか。

3 新たな姉妹都市提携について

- ・ 平成9年7月4日、アメリカ合衆国イリノイ州シャンバーグ市との姉妹都市提携以来、新たな姉妹都市提携はない。今日のグローバル化、企業の海外進出等さまざまな要素を勘案し、ベトナムの都市との姉妹都市提携を考えてみてはどうか。

角川 真人 議員（一般質問）

1 介護保険について

- (1) 要支援1・2の地域支援事業への移行はどうか。
- (2) 事業所に向けての働きかけはどのように行っているか。
- (3) 2015年度からの介護報酬引き下げによる影響はどのように考えているか。

2 核兵器のない世界に向けて

- (1) 8月に非核平和都市として市の主催による原爆写真展を。
- (2) 平和祈念式典への参加者を滑川市から送ってはどうか。

3 通学の安全のために

- ・ 歩道に限らず学校の敷地内においても暗がり気になるという声があるが、灯りの確保はできないか。

高木 悦子 議員（一般質問）

1 地方創生に取り組む姿勢を問う

- (1) 政府の「まち・ひと・しごと創生本部」が目指す地方創生の取り組みについて、滑川市の基本的なスタンスを問う。
- (2) 「地方版総合戦略」策定に関して、地方の自立につながるよう自らが考え、責任を持って戦略を推進すべきとして、国は「情報支援」、「人的支援」、「財政支援」を切れ目なく展開するとしているが、国の支援、とりわけ「人的支援」の受け入れに対する考えを問う。
- (3) 「地方版総合戦略」策定には、従来の審議会や懇談会のような固定的な顔ぶれではなく、幅広い年代、バランスの取れた性別、企業経営者・働く人、金融機関など新しい知恵と発想が必要だと考えるが、市の考えはどうか。
- (4) 「地方創生」にかける、本気度を問う。

2 担い手不足の解消には、企業の協力が不可欠ではないか

- (1) 団塊の世代が75歳以上になるいわゆる2025年問題においては、あらゆる現場で担い手不足となる。そこには女性の活力が不可欠と考えるが、ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）抜きには現状は変えられない。ワーク・ライフ・バランスに対する滑川市の考えを問う。
- (2) 出産・育児によって極端に女性の就業率が変化する日本の労働環境を根本から変えて、子育てをしながら女性が働ける環境を整備しなければ、企業自体も人材不足になれば、地域も守れなくなる。女性だけではなく、家庭を支える男性の働き方も転換するには企業の理解が不可欠だが、滑川市の考え方と、企業への働きかけの現状はいかに。
- (3) 子育て支援の行政サービスは、先進的取り組みもいずれ横並びになる。「子育て世代に優しい企業が集まるまち滑川」こそ、若い世代を呼び込む「まち・ひと・しごと創生」・・・地方創生の理念とならないか。
- (4) 消防団の人材が不足している。また日中に市外で勤務している消防団員は、日中の火災や災害出動に対応できない。そこで、日中滑川市内の

企業で勤務している社員を消防団員として従事してもらう協力を、企業から得られないか。企業内に消防団員がいるメリットを周知し、さらに行政として付加することはできないか。

3 マイナンバー制度導入に係る混乱を危惧する

- (1) マイナンバー（社会保障・税番号）制度に関する、内閣府の世論調査によると、理解も認知度も極めて低い。市民への広報の対策はどうか。
- (2) 今年10月の個人番号通知まで半年余りしかない。平成28年1月から、勤務先へ番号の通知をしたり、地代家賃の受取先へ通知したり、報酬の受取先へ通知したり、税の世界では民間での番号の取り扱いが発生するが、誤った個人情報保護の解釈から、スムーズな番号通知がされない懸念がある。最終的には、住民税の徴収業務にも影響を及ぼす。10月の付番以前から、周知活動を徹底すべきではないか。
- (3) 紙の通知カードでは容易に紛失・廃棄される可能性が高い。紙の通知カードから「個人番号カード」へのスムーズな移行が必要と考える。住基カードの発行停止と同時に平成28年1月から顔写真付き「個人番号カード」の発行業務がスタートする。住基カードの発行とは比べ物にならない事務負担が想定されるが、混乱は生じないか。

4 ふるさと納税に対する考え方を問う

- (1) 滑川市のふるさと納税の収支（市内から市外への寄附と、市外から市内への寄附）はどういう状況か。
- (2) 今年から、1万円以上の寄附者に対して特産品の贈呈を始めたが、その趣旨・目的は何か。
- (3) ふるさと納税の本来の趣旨とは別に、全国でふるさと納税をしている人の関心が何にあるかを理解しているか。
- (4) 市役所幹部の中に、ふるさと納税をした者、あるいはふるさと納税しようとした者はいるか。

- (5) ふるさと納税のポータルサイトが幾つかあって、自治体であれば情報提供さえすれば無料で掲載をしてもらうことができる。しかし、未だに滑川市がPRのためにそれらを利用している形跡が見られないが、真剣に取り組む意欲があるのか。
- (6) 寄附者への利便性を向上させる考えは無いか。
- (7) 滑川市民に対して、滑川市へのふるさと納税をアピールすべきではないか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 地方版総合戦略について

- ・ 地方版総合戦略について、その特徴、体制、内容、スケジュール等について問う。

2 滑川版ネウボラについて

- ・ 「滑川版ネウボラ」の今後の計画等について問う。

3 プレミアム商品券について

- ・ 今回発行するプレミアム商品券について、その内容・特徴・効果・独自性の有無、スケジュール、今後の取組等について問う。

4 データヘルスについて

- ・ 保健事業における、レセプトデータ活用によるデータヘルスの推進について問う。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 観光について

- (1) パノラマレストラン光彩を最大限に生かした食の観光を。
 - ア ほたるいかミュージアムに大きな石が点在しているが、どのような句が詠まれているかプレートを作成し説明しては。（ホタルイカのお題）
 - イ 特別天然記念物ホタルイカ群遊海面というどこにもない宝物を持っている滑川市は、新幹線からの眺望という地の利と、開通という時の利を生かして食で勝負を。
 - ウ 光彩は現在直営で営業しているが、市長は漁業組合とホタルイカの買い取り契約をしてはどうか。（年間100キログラムとか）
 - エ 北陸自動車道のサービスエリアの海鮮丼は、地元の人も食べに行くくらい人気と聞いている。海を抱える光彩には「ホタルイカの刺身は光彩に」と掲げ、メニューや価格の工夫を。
- (2) 観光課を設置し、市民や職員のアイデアで滑川市を全国に売り込むとき。
 - ・ 新幹線からみえる場所に電飾看板を。

2 教育について

- (1) 標準学力検査（CRT）の実施とあるが、効果と検証は。
- (2) 幼・保・小の連携は進んでいると思うが、小学校と中学校の連携はどうか。福井県に学べばどうか。
- (3) 子どもサミットの見直しを。今までは子どもたちからの提案を受けているが、これからは市の課題を提供しては。（理想の図書館とは、また選挙権についてなど）
- (4) 地区公民館に市の職員を派遣してはどうか。

3 人口減少対策の中で

- (1) 滑川市は第3子の保育料が所得制限なしに無料になっており、県も制限はあるものの無料になる。今度は家族形態の在り方で3世代同居推進に奨励金またはナメリカードの支給を。(1年・2年ではなく、子どもが小学校6年生や中学校3年生まで年間2万円程の支給はどうか)
- (2) 地元企業への就職促進のため、引っ越し代の援助を。

原 明 議員（一般質問）

1 婚活支援事業について

- ・ 婚活支援事業の取り組みについて（各種イベント開催や連携）

2 市営住宅の入居状況について

- (1) 駅前市営住宅の近況について
- (2) 定住促進住宅サンコーポラス吾妻・北野・上小泉、市営住宅サンコーポラス上小泉の入居状況について

3 職員の健康管理について

- (1) 健康診断の受診状況について
- (2) 人間ドックの受診状況について
- (3) メンタルヘルス対策の取り組みについて

4 農業の振興について

- (1) 学校給食への滑川産野菜の供給量と利用率、品目数について
- (2) 深層水を活用した「深層水トマト」のブランド化について
- (3) 有害鳥獣対策（イノシシ）について
 - ア 生息数の把握について
 - イ 捕獲数の推移について
 - ウ 電気柵の整備状況と新年度の計画と対策について
- (4) 農地中間管理機構（農地集積バンク）の取り組み状況について

竹原 正人 議員（一般質問）

1 子どもたちの学力・体力向上について

- (1) 本年度取り組んだ土曜学習モデル事業の成果とアンケート結果を踏まえ、今後の取り組みは。
- (2) ALT講師、スタディ・メイトが増員された理由は。
- (3) 北陸新幹線を利用した小諸市との交流事業が予算計上されているが、短時間の交流で得られる効果は。
- (4) 幼児期からの運動能力向上についての具体的な取り組みは。

2 子育て支援について

- (1) 放課後児童クラブの利用者増に向けた取り組みと指導員（支援員）の処遇改善は。
- (2) インフルエンザ予防接種への助成について、本年度の接種率を踏まえ、取り組みとしての検証は。
- (3) 新たな子育て支援が必要であると考えているが、当局の見解は。
- (4) 児童館建設について、予算根拠は。

3 観光振興について

- (1) 北陸新幹線開業に伴い、さらなる滑川市への観光客の誘致について、どう取り組むのか。
- (2) 新幹線の車窓から見る滑川地内での大型看板（PR看板）等の設置について、当局の見解は。

4 学校給食について

(1) 学校給食における地産地消への取り組みは年々増えてきているが、今後の取り組みは。

(2) 給食だよりの食材の産地表示はできないか。

高橋 久光 議員（一般質問）

1 地域の環境整備に関して伺う

- (1) 市内左右に隣接する2級河川（早月川・上市川・郷川）の管理の徹底と充実（堤防・中洲等）をはかれ。
- (2) 平成27年度以降の事業計画に盛り込まれている安田工業団地第4期工事に伴い、団地の周辺と中央を流れる河川の充実をどのように考えているのか。
- (3) 安田工業団地拡大に伴う周辺道路（主要地方道富山立山魚津線、県道黒川滑川線ほか）の状況と今後の対応と対策を伺う。

2 各種事業（滑川運動公園・安田工業団地第4期工事）について地元とのコンセンサスがはかられているか

- (1) 有金・堀江野球場から始まり、今日まで地元としては念願の整備であり、一日も早い完成に向けて待ち望んでいる。それゆえに誰しもが、一人でも多くの市民が集える公園になってほしいと願うところであり、地元（隣接町内会）とよく話し合いのうえ進めてもらっているか伺う。（未買収用地の件も含めて）
- (2) 安田工業団地第4期工事について、地理的（滑川インターに隣接した地）に合った工業団地としてふさわしい企業誘致やそれに伴う環境づくり、近隣民家や町内の理解も不可欠と思うが、その対応について伺う。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 高齢化社会に向けての取り組みについて

- (1) 2025年に団塊世代が75歳以上の後期高齢者となる問題において、介護保険制度も変更となり、要介護3まで在宅介護となるが、どのように対応するのか。
 - ア デイサービス及び訪問介護利用者増加に伴う介護士の養成について
 - イ 在宅介護者への支援として、在宅介護教室の開催及び在宅介護者への助成について

- (2) 生活支援ハウスほたるの里の今後の取り扱いについて
 - ア 今後とも低所得者の入居先として、有効活用していくのか。
 - イ 今後とも入居先として委託していくのであれば、空調設備等が老朽化した場合、更新費用を補助すべきではないか。

- (3) 認知症高齢者増加への対応について
 - ・ 高齢者が集う場所（例えば悠友サロン等々）で、長谷川方式を改良した遊び感覚クイズ形式で認知症診断を行い、認知症の早期発見に結びつけられないか。また、脳トレクイズを実施し、認知症の介護予防に結びつけるべきと考えるが。

- (4) 地域福祉を目指した地域包括ケアシステムの構築に向け、今後どのように進めていくのか。

2 シャンバーグ市との姉妹都市交流事業について

- (1) シャンバーグ市との姉妹都市交流事業の進捗状況について

- (2) 継続した事業計画にするためには、受け入れ先のシャンバーグ市の方々の協力が不可欠だが、シャンバーグ市の行政も巻き込んで進めるべきではないか。

